



2007
ALTIBASE DBMS Day

ALTIBASE4を適用した
グッドアイ投資情報システム再構築事例

グッドモーニング新韓証券



I. グッドアイ投資情報システムの概要

- 企業情報、海外情報等、証券情報の正確性に重点をおいたシステム
- 顧客からの興味を誘発するコンテンツを供給するために、多彩な投資情報画面を提供
- リアルタイムにデータが反映された価格シミュレーション機能を持つ
- 個人の投資性向に合わせてポートフォリオを構成可能なシステム



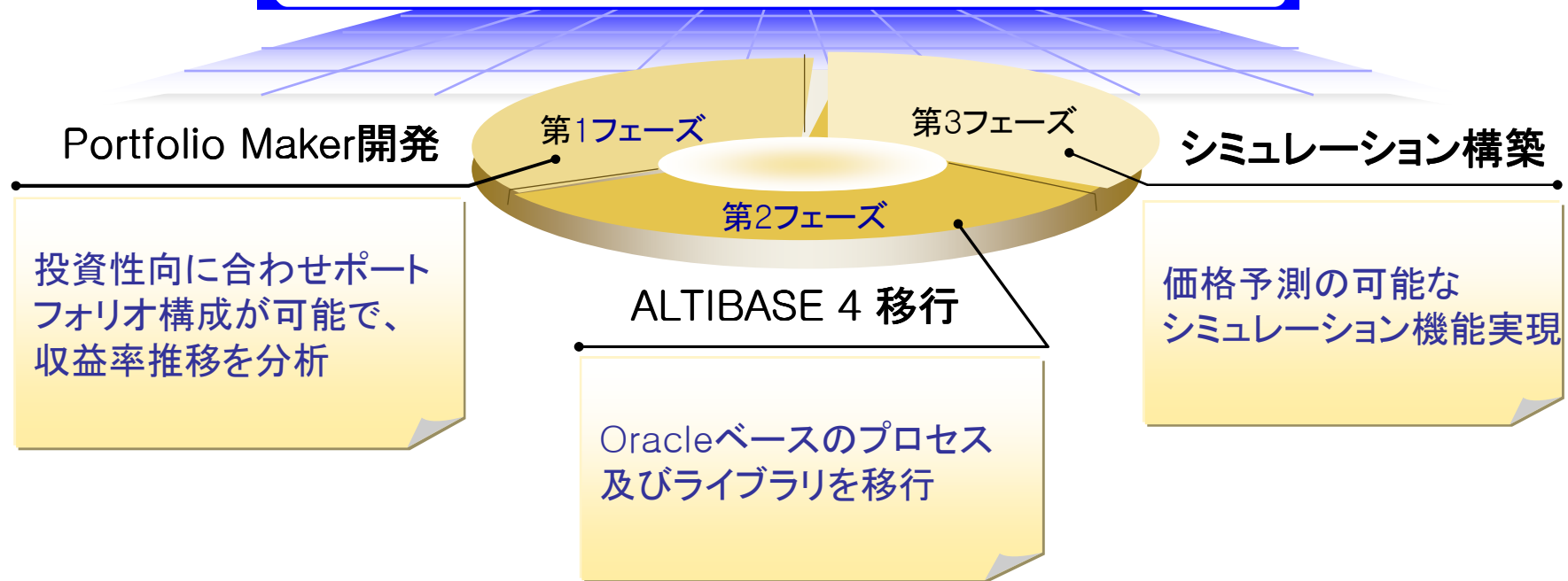
Ⅱ. ALTIBAES4 選択の背景

- 旧投資情報システムの運用期間が4年を経過し、システム再構築の必要性が台頭
- Oracleの旧投資情報サービスは、高速な応答を必要とするリアルタイム時勢サービスと連結が難しい
- リアルタイム時勢サービスとの連携、及び新規業務開発の生産性や保守費用を考慮し、Oracleの代わりに ALTIBASE4を基盤として採用し、システムを再構築することにした。



Ⅲ. グッドアイ投資情報システム再開発プロセス

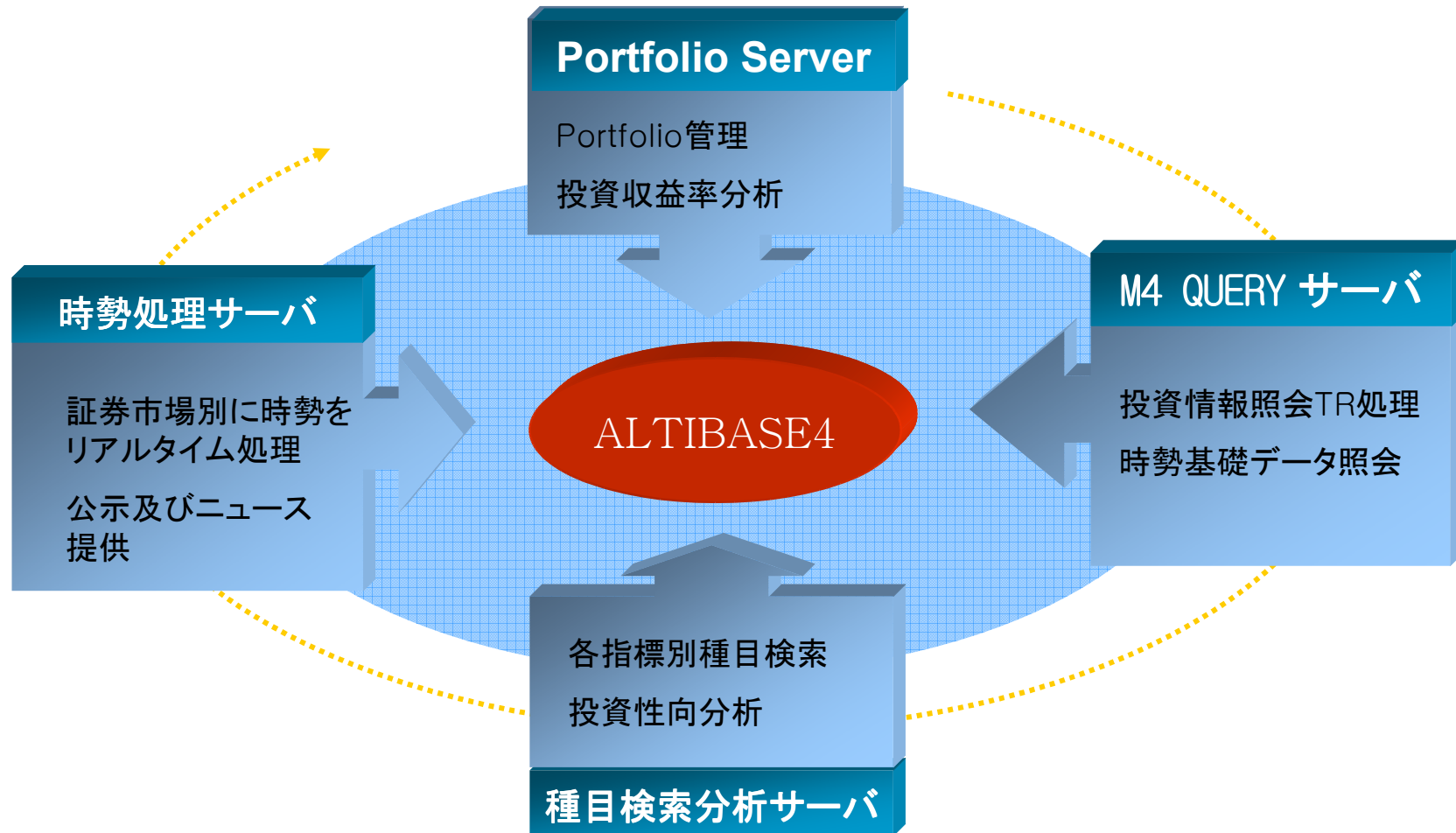
グッドアイ投資情報システム



※ 現在、第1フェーズを完了し、第2フェーズの開発中。第3フェーズは並行して設計中



IV. グッドアイ投資情報システムの構造図





V. Portfolio Makerの紹介

1. Portfolio Maker ® システム

KOSPI, KOSPI200 等とmy index収益率差異比較...

2. 投資前危険、収益シミュレーションシステム

- ☑ 構成portfolio検証 → 1~2年の収益変化チャート提供
- ☑ Risk区間自動表示 → 体系的/非体系的に危険区間を判断

3. My Index 分析システム

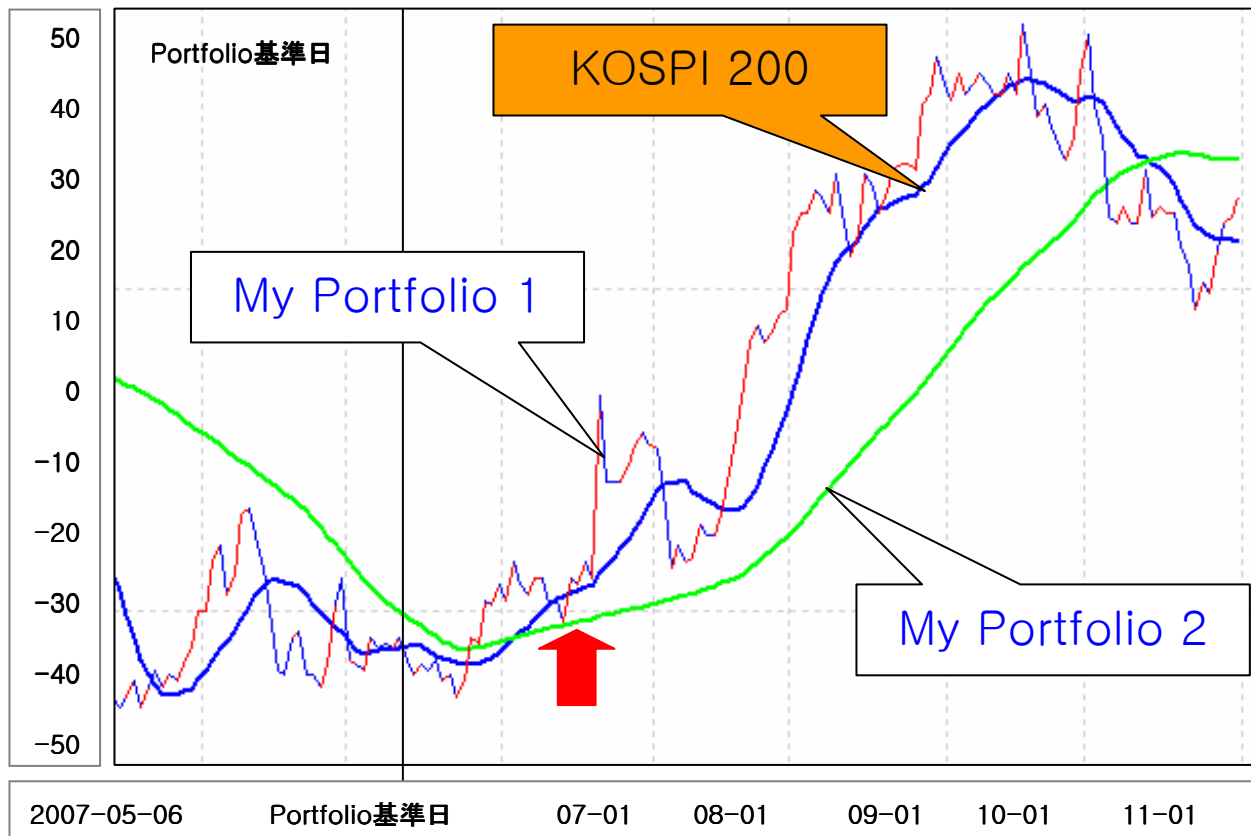
テーマ別、業種、グループ社別、KOSPI200、銘柄50選...

体系的な投資管理
+
投資収益率の増加



VI. Portfolio Makerの紹介(連続)

My Index 及び市場収益率比較成果分析



ポートフォリオの修正が必要



Ⅶ. ALTIBASE4 使用後記

- 時勢情報及び投資情報サービスの処理速度が向上
- 既存の共有メモリー方式に比べ、安定的なデータ管理が可能
- 同一マシン内に、データ特性に合わせて、時勢情報はメモリデータベース、顧客情報はRDBで管理可能
- MOVE DMLによる時勢サーバ間のデータ同期化
- LIMIT機能を使用した大量データ照会画面の開発が容易